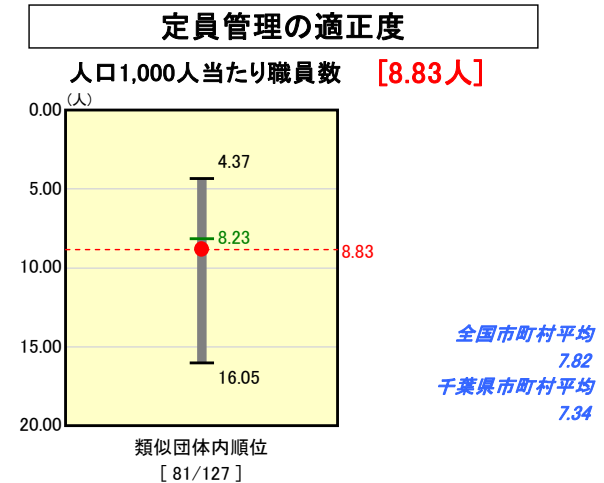
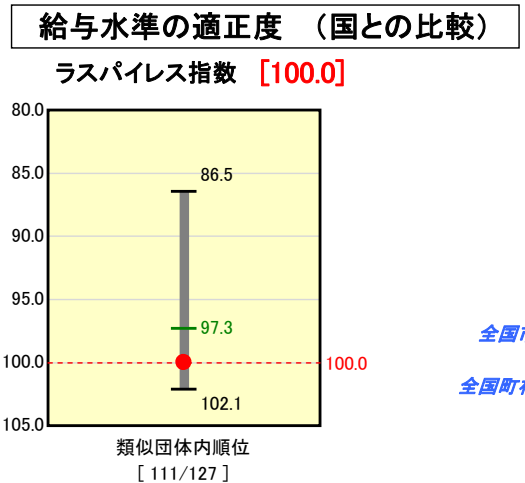
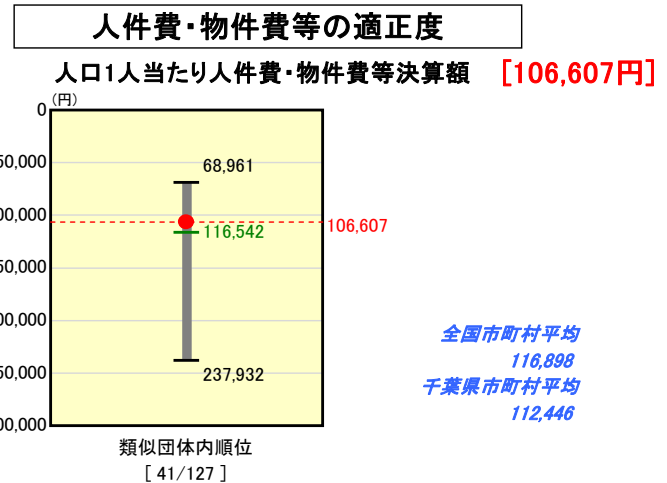
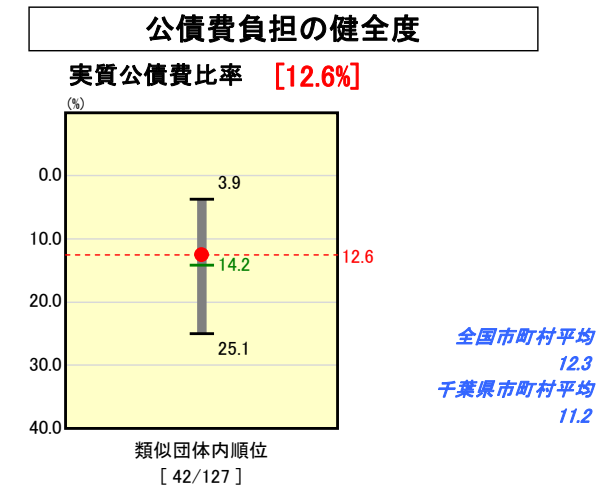
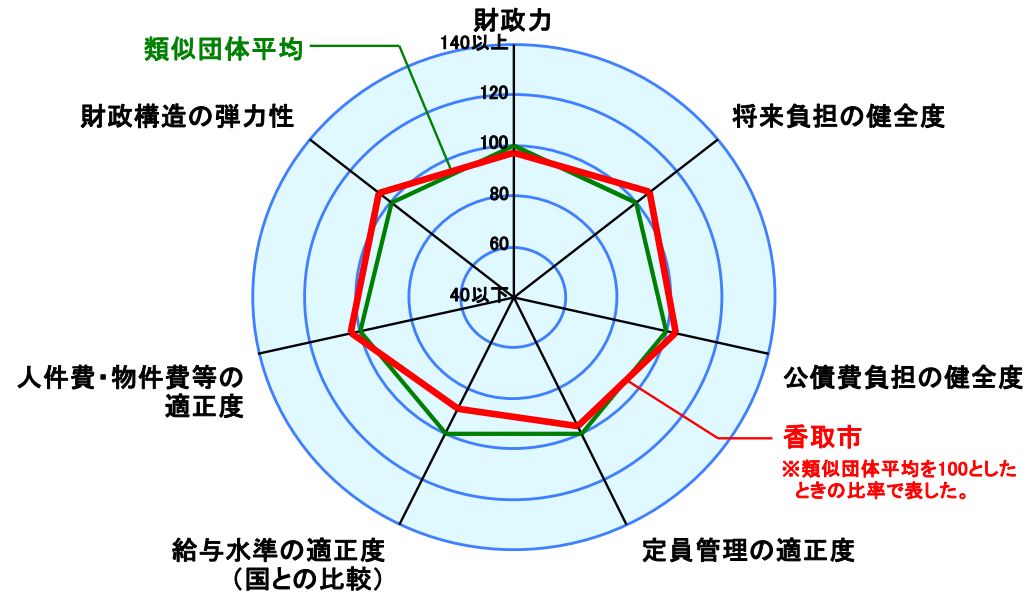
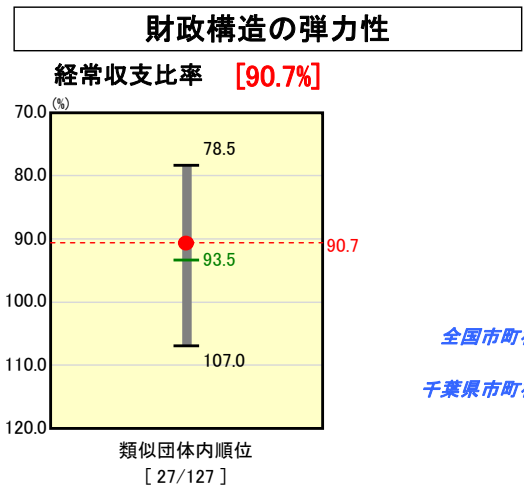
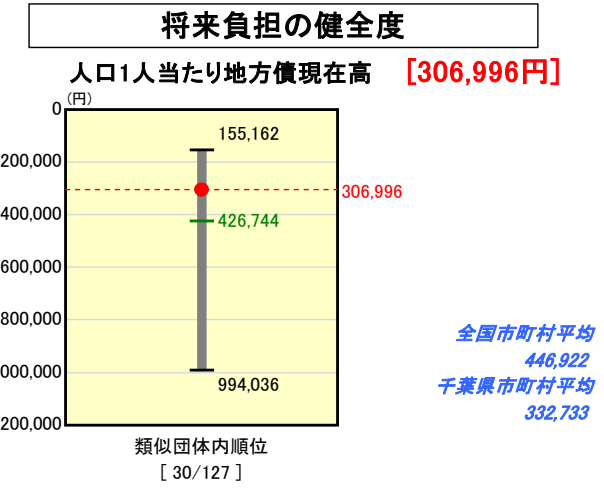
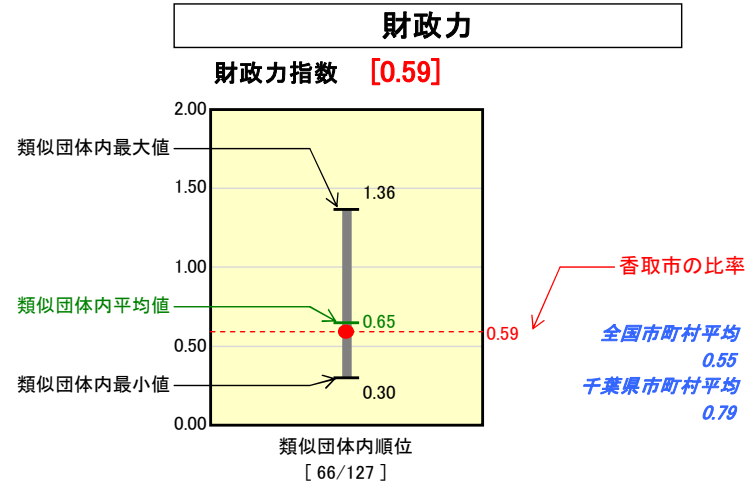


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 香取市

人口	86,654	人(H20.3.31現在)
面積	262.31	km ²
歳入総額	27,979,685	千円
歳出総額	27,098,602	千円
実質収支	881,083	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
前年度に比べ0.03増加し、0.59となった主な要因は、税源移譲に伴う市町村民税所得割の増により、基準財政収入額が増加したためである。当市の指数は類似団体内、全国市町村平均を上回っているものの、県内市町村平均を下回っており、必ずしも財政基盤は強いとは言えない。今後も集中改革プランにより、定員管理の適正化及び地方税の徴収強化等の取り組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率:
前年度に比べ0.7%減少し、90.7%となった主な要因は、税源移譲による市税の増加や、退職等による人件費の削減、一部事務組合に対する補助費に示める人件費公債費の減少によるものである。類似団体内、全国市町村、県内市町村の各種平均を下回ったが、今後も人件費や補助費等の削減を進め、経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
各種平均を下回っている主な要因は、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充当する負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は、大幅に増加することから、一部事務組合を含む経費の抑制を図る必要がある。

ラスパイレス指数:
全国市平均、全国町村平均を上回っている。地域手当の見直し等、給与制度の適正な運用に努める。

人口1人当たりの地方債現在高:
各種平均を下回っている。今後も、合併団体として、合併特例債事業を活用した整備事業を実施していき、過剰な債務増加にならないよう、将来負担の健全化を前提に、適正な財政運営に努める。

実質公債費比率:
前年度に比べ3.3%減少し、12.6%となった主な要因は、地方公共団体財政健全化法により、都市計画税が新たに控除財源となったためである。香取市総合計画のもと、緊急度、住民ニーズを的確に把握しながら、計画的な施設整備を行い、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数:
合併で全国市町村平均、千葉県市町村平均を上回っていることから、引き続き定員管理の適正化に努め、効率的な組織体制を構築及び民間委託の推進等により、集中改革プラン(平成18年度～24年度)の定員適正化計画の達成を目指す。